

## 2023 年度事業報告

### 1. 会議の開催

#### 1) 定時総会

- (1) 2023 年度（通算第 59 回）定時総会  
2023 年 6 月 27 日（火） 於 事務所及び web 会議システム

#### 2) 理事会（通常年 2 回開催）

- (1) 2023 年度第 1 回理事会（2023 年度定時評議員会と合同開催）  
2023 年 6 月 8 日（木） 於 くるまプラザ対面及び web 会議システム
- (2) 2023 年度第 2 回理事会  
2024 年 3 月 25 日（月） 事務所及び web 会議システム
- (3) 2023 年度第 1 回臨時理事会（代表・副代表選出）  
2023 年 7 月 24 日（月） 事務所及び web 会議システム
- (4) 2023 年度第 2 回臨時理事会（代表・副代表選出）  
2023 年 10 月 23 日（月） 事務所及び web 会議システム

#### 3) 評議員会（定時 1 回開催）

- (1) 2023 年度定時評議員会（2023 年 6 月 8 日：前記 2023 年度第 1 回理事会と合同開催）

#### 4) 幹事会

- (1) 2023 年度第 1 回幹事会  
2023 年 5 月 31 日（水） 於 くるまプラザ対面＋web 会議システム
- (2) 2023 年度第 2 回幹事会（2022 年度第 2 回運営委員会と合同開催）  
2024 年 3 月 18 日（月） 於 事務局＋web 会議システム

#### 5) 各種委員会

##### (1) 運営委員会

- 2023 年 10 月 23 日（月） 於 事務局＋web 会議システム  
2024 年 3 月 18 日（月） 事務局＋web 会議システム  
（前記 2023 年度第 2 回幹事会と合同開催）

##### (2) 編集委員会

- 2023 年 12 月 22 日 AP 東京八重洲 12F J ルーム＋web 会議システム
- ※2023 年 9 月 11 付で（株）へるす出版より、「1 年以内に学会誌編集事務局を撤退」の意向が示されたため、10 月 23 日の臨時理事会にて「編集・総務・財務・事務局ほか関係者による WG（ワーキンググループ）」を設置し、業務内容の詳細把握と後任業者の選定を行った（現事務局との対面協議 1 回、候補業者選定の Web 会議 3 回、内定候補業者との打合せ Web 会議 1 回）。協議の結果、後任業者は、学会誌編集委員会事務局：株式会社ドーモ、学会誌印刷：株式会社ニチゲン、有限会社シュープリントとした。

##### (3) 倫理委員会

- 2023 年 4 月 11 日（火） 第 1 回倫理委員会 新宿 TKC カンファレンスセンター

※倫理委員会規程、利益相反マネジメント規程を2023年10月23日付にて発出。

## 2. 調査・研究の実施

### 1) 第59回日本交通科学学会 学術講演会 【参加159名】

大会長：渡邊 修（東京慈恵医科大学 リハビリテーション医学講座 教授）

会 期：2023年11月11日（土）～12日（日）

会 場：東京慈恵医科大学 1号館（3F講堂・5F講堂）

メインテーマ：「高齢者・障害者の安全・安心な交通社会を目指して」

講演6件 シンポジウム4件 委託研究報告1件 一般演題24件

## 2) 研究部会・研究：助成研究

### (1) 助成研究

（一社）日本損害保険協会 自賠責運用益拋出 助成研究

・2023～2025年度研究テーマ（3年継続）：

「体調起因事故予防に向けた効果的なドライバーモニタリング及び運転支援技術の検討」

研究責任者：一杉 正仁

委員長 一杉 正仁 （滋賀医科大学社会医学講座法医学部門）

委員 三宅 康史 （帝京大学医学部救急医学講座）

委員 伊藤 大輔 （関西大学安全社会学部）

委員 國行 浩史 （公立諏訪東京理科大学工学部機械電気工学科）

委員 馬場 美年子 （慶応義塾大学医学部総合医科学研究センター）

委員 松田 礼 （日本大学理工学部 精密機械工学科）

・2020～2022年度 研究報告書 （完成済 近日印刷配布予定）

### (2) 受託研究

（一社）日本自動車工業会 委託研究

・報告書提出済・請求書・納品書送付・報告書データ版を自工会提出済 冊子版は印刷配布予定

・研究費は上半期分・下半期分振込完了

・2024年度分の公募は1月末にて〆切（新規6件、継続3件にて承認）

2023年度実施研究

#### 【継続 2件】

・「低出生体重児にとっての適切なチャイルドシートの検討」

川戸 仁（はぐぐみBaby&Kid'sクリニック）

・「車椅子乗車車両による死亡事故例の検証と予防対策の提案」

桑原 歩夢（滋賀医科大学社会医学講座）

#### 【新規 4件】

・「滋賀県内の総在留外国妊婦の自動車乗車状況とシートベルト着用の実態調査」

花原 恭子（聖泉大学看護学部看護学科）

・「自動車事故による重傷損傷予防に向けた、関連因子の検討」

石井 亘（京都第二赤十字病院 救命救急センター）

・「新規モビリティに対する被害軽減ブレーキの特性」

戸田 均（三重県警察本部科学捜査研究所）

・「妊婦の自動車運転状況と胎児心拍数モニタリングに関する研究」

立岡 弓子（滋賀医科大学臨床看護学講座）

#### 【依頼 1件】

・「剖検例に基づく体調起因性事故の実態調査」

一杉 正仁（滋賀医科大学社会医学講座）／大澤 資樹（東海大学医学部）／  
池谷 博（京都府立医科大学）／佐藤 貴子（大阪医科薬科大学）

### 3. 啓発・広報事業の実施

#### 1) 賛助会員懇談会

「第13回賛助会員懇談会」

2024年2月19日（月） 日本自動車会館1F「くるまプラザ」

- 講話：テーマ＝自動車運転による社会参加  
講師紹介・講演司会：一杉副会長

- ・渡邊 修（東京慈恵医科大学リハビリテーション医学講座）  
「脳卒中と自動車運転」
- ・一杉 正仁  
「疾病と運転、職業運転者の現状について」

#### 2) 交通科学シンポジウム

「第17回交通科学シンポジウム」

2024年3月4日（月）13:30～16:30 開催 於 日本自動車会館1F「くるまプラザ」＋Web配信

主催：日本交通科学学会

参加費：無料 定員：先着100名（現地/オンライン参加）

申込57名 当日参加64名（会場＋Web）

メインテーマ：

「体調起因性事故予防に向けた効果的なドライバーモニタリング及び運転支援技術の検討」

プログラム：

13:30～13:40 開会挨拶：

有賀 徹（一般社団法人 日本交通科学学会 会長・独立行政法人労働者健康安全機構）

13:40～

シンポジウム

(13:40～14:05) 「体調起因性事故 –救命救急センターにおける実証例の分析–」

三宅 康史(帝京大学医学部救急医学講座/附属病院高度救命救急センター)

(14:10～14:35) 「体調起因性事故の実態について –剖検例による検討–」

一杉 正仁（滋賀医科大学社会医学講座）

(14:40～15:05) 「自動車走行時における運転者と同乗者の心理・生理反応測定」

松田 礼（日本大学理工学部精密機械工学科）

(15:10～15:35) 「ドライバ体調急変時の運転姿勢と検知および操作に関する課題」

國行 浩史（公立諏訪東京理科大学機械電気工学科）

15:35～15:50 休憩

15:50～16:20 総合討論 パネルディスカッション

16:25～16:30 閉会挨拶：榎 徹雄（一般社団法人 日本交通科学学会 副会長・東京都市大学理工学部）

#### 3) 出版物の発行

「日本交通科学学会誌」2023 Vol.23

- ・第23巻補冊：第59回総会・学術講演会講演集（2023年10月発行）
- ・No.1（2023年9月発行）
- ・No.2（2024年3月発行）